第65回 日本史関係卒業論文発表会

第1会場（1031教室）

1　律令上京力役制度の成立　赤松龍之介（就実大）
2　平安期における宋商人の対日交易と東アジア海域―勝尾寺の「百済皇后霊験譚」を手がかりとして―　北村　友唯（早稲田大）
3　鎌倉街道上道と熊野修験　志村　奏恵（都留文科大）
4　古河公方官途授与の基礎的考察―官途状を中心に―　三栗谷凜大（東北大）
5　永正年間における阿蘇大宮司家の社領支配―武家と社家及び僧徒の関係を中心に―　岩﨑　大知（明治大）
6　足利的秩序の崩壊と三好氏の位置付け―「永禄の変」の真相を中心に―　舩嵜　勇人（東洋大）
7　中世商人の展開と装束―『絵巻物』から『秤の本地』へ―　泉　知里（専修大）
8　戦国期肥前国における勧進聖の存在形態―福満寺朝覚を例として―　青木　英輔（立教大）
9　戦国期における江戸の発展　町田　敦秀（高崎経済大）

第2会場（1032教室）

10　徳川秀忠発給文書の基礎的研究―天正二〇年から慶長一〇年までを中心に―　竹村　拓磨（大正大）
11　茶人古田織部の死生観について　横井　蒼大（愛媛大）
12　徳川綱吉時代における「側用人」と将軍専制権力について　伊藤菜月子（東京都立大）
13　近世における将軍正妻の政治的影響力―徳川家宣死後の天英院を事例に―　加藤菜穂子（駒澤大）
14　禁裏外部での活動からみる近世非蔵人―新日吉社守護社職兼任非蔵人藤島宗韶を事例として―　山本　遥大（東京学芸大）
15　象洞の活用から見た享保期の疫病政策　田中　裕太（淑徳大）
16　福岡藩における燃料政策の展開―石炭と木炭の連関に注目して―　大庭　夕佳（東京大）
17　近世領知宛行制度の研究―慶応四年の領知宛行状提出を中心に―　関　恵正（信州大）
18　近世後期における江戸町火消の怪我と補償―南伝馬町周辺の二番組「せ」組を事例に―　澤田　陸斗（國學院大）

第3会場（1033教室）

19　群馬と埼玉の民権結社の比較検討―上毛自由党と通見社、七名社、嚶鳴社を対象に―　田中　翔也（高崎経済大）
20　明治期における菓子業界の形成―「滋養衛生」を中心に―　鳥羽　菜月（お茶の水女子大）
21　農村地域における小規模経営鉄道の展開 ―宮城県・角田馬車鉄道（角田軌道）を例として―　戸倉　希実（昭和女子大）
22　富士裾野演習場における地元住民と陸軍の関係―明治末期から昭和前期を対象に―　山崎　紫音（東海大）
23　一九一〇年代における福岡市政と上水道布設事業　田代　恵悟（九州大）
24　大正期のアジア主義に関する考察―実業家西原亀三の東洋政策観から―　小谷　啓人（学習院大）
25　なぜ「移民」を送り出したのか―日本近代における「移民送出」に関する一考察―　城山菜々子（日本女子大）
26　婦人雑誌に見る生活改善の実態―『婦人公論』における生活改善言説の検討―　秋本萌乃加（立正大）
27　資生堂と戦時下の女性像―『資生堂グラフ』と『花椿』を通して―　細島　瑠花（茨城大）
28　身体からみた終戦前後の音楽実践―素人演芸熱と飯能文化協会の活動から―　宮城　幸太（千葉大）

《特別講座》午後4時10分～5時（1031教室）

地方史研究の歴史をたどる

山田　邦明（愛知大学文学部教授）

日　時　2024年4月20日（土）　午前10時 開会（午前9時30分開場）

会　場　大正大学西巣鴨キャンパス10号館
〈会場アクセス〉都営地下鉄三田線「西巣鴨」駅下車　徒歩2分
＊会場からZoomによるオンライン配信あり

参加費
事前振込　会員／学部・院生（修士）1000円　非会員1300円
当　日　会員／学部・院生（修士）1300円　非会員1500円
オンライン　1500円（配信手数料等を含む）
※参加申し込みは、当会HP（http://chihoshi.jp/）か、右のQRコードより

●発表者・参加者交流会　午後5時10分～6時（1031教室）

●懇親会　午後6時15分～（大正大学カフェテリア）
会費　一般5000円　学部・院生（修士）2500円

主催　地方史研究協議会
〒111-0032　東京都台東区浅草5-33-1-2階　TEL　03-6802-4119／FAX　03-6802-4129
MAIL　chihoshi@chihoshi.jp／URL　http://chihoshi.jp/

入会は随時受け付けております。入会ご希望の方は上記の当会事務局もしくは右のQRコードよりお申し込み下さい。
年会費　6,600円／会誌『地方史研究』を年6冊（偶数月）発行